

## ありがとうございます。おかげ様で、IE桑名通信も100号を迎えることができました！！

みなさまのおかげをもちまして、「IE桑名通信」も100号を迎えることができました。2007年4月に第1号をお届けしてから、早いもので8年が過ぎ去ってしまいました。これからも、みなさまのお役に立つ情報をお届けしていきたいと考えておりますので、どうぞ、ご愛顧のほど、よろしくお願いたします。また、こんな情報が欲しいなどのご要望やご質問、ご意見など、是非是非、お寄せください。直接、担当講師、室長にお伝えいただいても、下記のメールアドレス・FAXにお送りいただいても、または、ホームページの問合せ画面にご記入いただくこともできます。是非、みなさまの声を届けて下さい。よろしくお願いたします。



さて、「IE桑名通信」では、これまで、「世界遺産めぐり」や「ことわざ講座」、英語コラムの「PowerPlay」など、いろいろなシリーズをお届けしてきました。今後は、「やる気スッチグループ」として、「やる気アップ」「モチベーションアップ」「勉強法」などを中心にシリーズ化してお届けしていく予定ですが、何か復活をご希望されるシリーズがありましたら、ご遠慮なくお知らせください。次号は、「自習研究」をテーマとした特別企画ですが、9月からは「現役東大生の勉強法」をシリーズ化してお届けしていく予定です。どうぞ、ご期待ください。

### 読書感想文の書き方【蟹工船】を例に

みなさん、もうすぐ夏休みですね。夏休みの悩みの一つに作文や読書感想文があるのではないのでしょうか？そんなみなさんに、IE桑名通信から、簡単に書いてしまう、読書感想文の書き方をプレゼント！

【はじめに】  
読書感想文、なぜ書けないのでしょうか。理由は人によってそれぞれ違うと思いますが、そもそも国語の教科書程度でしか「読む(=読書)」という行為(=習慣)がないのではないのでしょうか。国語の授業で「読み解く力」を勉強している途中なのに「読書感想文を書け」これは難しい作業だと思います。

また「読書」してその「感想」を「文」にする、それが評価されると思うと心理的な負担が大きくなってしまっているのではないかと考えます。「読書感想文」という言葉の魔力に取りつかれ、意識し過ぎてしまい書けなくなってしまうのです。

日ごろから読む習慣を身につけましょう。最初は新聞や雑誌でも構いません。

しかし必ず毎日1行でも良いから読みましょう。これは読書感想文に限らず外国語の勉強、英語などでも通用します。「継続は力なり」です。

#### ポイントー 毎日文章を読む

【読書する】  
では、実際に読んでみましょう。読書感想文を書く時には、本は3回読むと効果的です。

#### 【1回目の読書】

1回目は「読書しよう」と身構えず、どういう内容なのかを確認しながら読みましょう。但し、気になった場面や引用したい文は付箋を貼るなどしましょう。付箋にメモしておくのも効果的です。

#### ポイントー

付箋を貼り、メモしておく

#### 【2回目の読書】

2回目は付箋を貼った部分をもう一度読み返してみましょう。何が気になったのか、自分は思ったのか、という部分です。頭の中で整理できれば良いですが、最初は難しいと思いますので、別の用紙にリストアップすると良いでしょう。

#### ポイントー

気になった部分をリストアップする

#### 【3回目の読書】

可能なら、もう1度小説を読んでみましょう。3回目は文章に隠された作者の意図や想いを意識しながら読みましょう。この時、鍵となる言葉を頭に入れておくとう良いでしょう。具体的には「ブ

ロレタリア文学」「労働者と資本家」「資本家の不当な搾取」「労働者の団結」「階級闘争」などです。これから何を読み取るかが大切です。つまり…

#### ポイントー

「行間」を読む

1回読んだ ⇒ 目を通した

2回読んだ ⇒ 読んだ

3回読んだ ⇒ 熟読した

#### 【書く】

ここで初めて感想文を書いてみます。書き方はHPなどにも載っていますが、簡潔にまとめてみました。以下を参考に、自分の心に素直になって思ったことや感じたことを書きましょう。但しいきなり書くのではなく、必ず下書きをしましょう。書き終わった後に確認の作業があるからです。

#### ポイントー

下書きをやる

#### 【書き方】

では、実際に書いてみましょう。ここでは蟹工船（小林多喜二 著、新潮社）を例に取ってみます。読書感想文は3つの構成に分けます。

#### ①はじめ(または前置き、導入、序論、緒論など)

これから書くことについて書きます。「○○という本を読んだこと」でも構いませんが、それに絡り交せて自分の体験したことや経験したことについて書くとう良いでしょう。

例) 冒頭の「おい地獄さ行くんだ！」という言葉に、私は心を碎かれるようなショックを受けました。会話から始まる小説はあまり出合った事がないのですが、蟹工船ではその言葉があまりにも衝撃的だったからです。

#### ②なか(または主旨、要旨、本論、主題など)

物語における時間の流れやできごとに沿って、いくつかの文を書きます。文中の言葉を引用したり、自分の考えや気持ち、体験したことや経験したことを具体的に振り返って書くとう良いでしょう。

#### 引用例)

・それがこの前のガス爆発で、危く死に損ねてから一前に何度かあった事だが一ファイと坑夫が怒ろしくなり、鉱山を下りてしまった。(P14)

・蟹工船は「工船」(工場船)であって、「航船」ではない。だから航海法は適用されなかった。(P34)

・それに、蟹工船は純然たる「工場」だった。然し工場法の適用もうけていない。(P34~35)

・前の日は十時近くまでやって、身体は壊れかかった機械のようにギクギクしていた。タラップを上りながら、ひよいとすると、眠っていた。(P81)

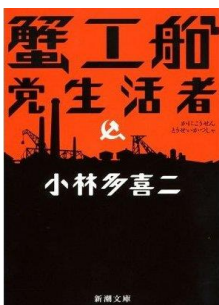
・それは今迄「屈從」しか知らなかった漁夫を、全く思いがけずに背から、とてつない力で突きめめた。(P109)

・「俺達の交渉が彼奴等をタタキのめせるか、その職分を完全につくせるかどうかは、一に諸君の団結の力に依るのだ」(P128)

・「馬鹿な！——国民の味方でない帝国の軍艦、そんな理窟なんてある筈があるか?」(P133)

#### ③おわり(またはまとめ、むすび、結果、結論、結語、総括など)

自分の考えや感想を書きます。



例1) やはり私は労働者が劣悪な環境で酷使され、人を人として扱わない浅川は許されない、と思いました。労働者が諦めず何度でも立ち上がる姿に感銘を受けました。私は将来どんな仕事に就くかは分かりませんが、この労働者達のように絶対に負けない心を持ち、仲間を大切にしようと思います。

例2) 僕は「常勝」という信念を持ってサッカー部の主将を務めています。チームをまとめるにあたり、全員の意見を聞きますが、やはり一部の部員には妥協してもらわなければなりません。部長先生をトップとして、その下に主将の僕がいます。そのため、蟹工船の監督である浅川の気持ちがよく分かります。いくら自分達の意見や要求を通したいからといって、ストライキが行われると組織として機能しなくなる可能性があります。ストライキは絶対に良くないことだと思いました。僕はこのようなことがないようしっかりとチームを管理して部を機能させたいと思います。

#### ポイントー

ここでは個々の労働者の独自の階層的・個人的な容顔が十分にははっきりと示されていない。そのため全体としての集団の力はかなりダイナミックに示されているが、個々の形象がはっきりと印象づけられない結果をともなった。(P277 解説 蔵原惟人)

#### ポイントー

登場人物一健吉、竹田、宮口、山田、浅川

#### 【確認する】

自分が書いた文章を読み返してみましょう。あるいは家族の方に確認してもらいましょう。必ずおかしな点があるはずですよ。

#### チェックポイント

- ・あらすじばかりが書かれていないか
- ・段落変えはきちんとできているか
- ・主語と述語の関係はおかしくないか
- ・誤字脱字はないか
- ・自分の伝えたいことがきちんと書かれているか

### 8月の予定表

7月18日(土)~20日(月・祝)	休校日
7月21日(火)~9月6日(日)	IE夏期講習
8月12日(水)~8月16日(日)	お盆休み・休校日
8月15日(土)・16日(日)	夏期合宿
8月24日(日)	コンピュータテスト
中3・小学生：AM、中1・2生：PM	
8月29日(土)	09:30~12:30
9月05日(土)	13:20~16:20
	期末テスト大勉強会
9月2日(水)~9月11日(金)	市内各中学校で前期期末テスト
9月20日(日)~9月27日(日)	休校日

### 夏期講習日程表をご確認下さい！

7月21日(火)より9月6日(日)までの間、通常授業も含め、お一人おひとり個別の日程で授業を行なわせていただきます。別途お届けする夏期講習日程表をご確認の上、ご来塾下さい。特に、夕刻の授業開始時刻は、1学期と異なっております。お気を付けてください。9月7日(月)から新時間割に変わります。

## 夏期講習中の自習室開放予定時刻

7月20日 月	休校日		8月15日 土	夏期集中合宿	
7月21日 火	<b>13:00</b>	→ 21:30	8月16日 日		
7月22日 水	9:30	→ 21:30	8月17日 月	9:30	→ 21:30
7月23日 木	9:30	→ 21:30	8月18日 火	9:30	→ 21:30
7月24日 金	9:30	→ 21:30	8月19日 水	9:30	→ 21:30
7月25日 土	9:30	→ <b>18:00</b>	8月20日 木	9:30	→ 21:30
7月26日 日	9:30	→ 21:30	8月21日 金	9:30	→ 21:30
7月27日 月	9:30	→ 21:30	8月22日 土	9:30	→ 21:30
7月28日 火	9:30	→ 21:30	8月23日 日	模擬試験	
7月29日 水	9:30	→ 21:30	8月24日 月	9:30	→ 21:30
7月30日 木	9:30	→ 21:30	8月25日 火	9:30	→ 21:30
7月31日 金	9:30	→ 21:30	8月26日 水	9:30	→ 21:30
8月1日 土	9:30	→ <b>18:00</b>	8月27日 木	9:30	→ 21:30
8月2日 日	9:30	→ 21:30	8月28日 金	9:30	→ 21:30
8月3日 月	9:30	→ 21:30	8月29日 土	9:30	→ 21:30
8月4日 火	9:30	→ 21:30	8月30日 日	9:30	→ 21:30
8月5日 水	9:30	→ 21:30	8月31日 月	9:30	→ 21:30
8月6日 木	9:30	→ 21:30	9月1日 火	15:00	→ 21:30
8月7日 金	9:30	→ 21:30	9月2日 水	15:00	→ 21:30
8月8日 土	9:30	→ 21:30	9月3日 木	15:00	→ 21:30
8月9日 日	<b>11:00</b>	→ 21:30	9月4日 金	15:00	→ 21:30
8月10日 月	9:30	→ 21:30	9月5日 土	<b>13:30</b>	→ 21:30
8月11日 火	9:30	→ 21:30	9月6日 日	<b>18:00</b>	→ 21:30
8月12日 水			9月7日 月	15:00	→ 21:30
8月13日 木	休校日		9月8日 火	15:00	→ 21:30
8月14日 金			9/20(日)～9/27(日)		休校日

授業の都合により上記時刻を変更する場合がありますが、開室時刻が上記より遅くなることや、閉室時刻が早くなることはありません。

### 自習室利用規定

1. 自習は自習室(兼、集団授業用教室)でのみ行なってください。
2. 3Fロビーでの自習は禁止です。
3. 自習室内での飲食・私語は厳禁です。自習中、飲食物はカバンの中に入れてください。
4. 昼食・夕食等は、12:30～13:00、17:50～18:20の間に限り、3Fロビー、または、2F個別ブースで可能です。その際、ゴミは各自で持ち帰ってください。上記以外の時間は、教室内全ての箇所で飲食厳禁です。
5. 自習室を利用するためには、Safety Cardで入室登録を行い、自習者一覧に記入してください。
6. 自習が終わり、帰宅する前には、室長または副室長に自習内容を見せ、確認を受けてください。
7. 個別授業中など、自習室を離れる際に、個人の荷物等で席取りをすることを禁止します。
8. 集団授業中は集団授業教室の入口側半分が自習室となります。授業中ですので、特に私語厳禁は、厳守してください。3F自習室が満室の場合も同様に室長に確認の上、2Fブースで自習してください。
9. 3F・2Fともに満室の場合、自習室がご利用いただけない場合もあります。
10. 自習室内の安全を守るため、監視カメラを設置し、常時録画させていただいております。自習中の録画に関し、ご理解いただけない場合、自習室のご利用をお控え下さい。
11. 上記のルールを守っていただけない場合、即刻、退室いただき、その後の自習室の利用をお断り申し上げます。